

平成28年度 地方独立行政法人岐阜県総合医療センター 財務諸表の概要

1 財務諸表の概要

(1) 貸借対照表

平成29年3月31日における法人の資産、負債、純資産の状況を表示

【資産の部】		【負債の部】	
固定資産	194.7 億円	固定負債	183.6 億円
土地	23.5 億円	流動負債	34.8 億円
建物	142.7 億円		
流動資産	204.3 億円	【純資産の部】	
現金及び預金	164.2 億円	資本金	108.6 億円
		資本剰余金	75.7 億円
		繰越欠損金	▲ 3.6 億円
計	399.0 億円	計	399.0 億円

(2) 損益計算書

平成28年度における法人の収益とこれに対応する費用を記載し、当期純利益を表示

収益総額	228.1 億円
営業収益	226.1 億円
営業外収益	2.0 億円
臨時利益	0.0 億円
費用総額	230.8 億円
営業費用	220.7 億円
営業外費用	10.1 億円
臨時損失	0.0 億円
当期純損失	▲ 2.7 億円
当期総損失	▲ 2.7 億円

(3) キャッシュ・フロー計算書

平成28年度における現金・預金(キャッシュ)の増減を活動区分別に表示

I 業務活動によるキャッシュ・フロー	19.7 億円
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 9.7 億円
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 3.7 億円
IV 資金増加額	6.3 億円
V 資金期首残高	47.9 億円
VI 資金期末残高	54.2 億円

(4) 行政サービス実施コスト計算書

法人の業務運営に関して、行政サービス実施コストに係る情報を集約して表示

I 業務費用	18.5 億円
(1) 損益計算書上の費用	230.8 億円
(2) 自己収入等(控除)	▲ 212.3 億円
II 機会費用	0.2 億円
III 行政サービス実施コスト	18.6 億円

※ 各項目において百万円単位を四捨五入しているため、各項目の数値の合計と合計欄の数値が一致しない場合がある。

2 収支の状況

(1) 収支概要

平成28年度純損失……▲272,764千円 →▲182,683千円(対前年度差額)
 (平成27年度純損失……▲90,081千円)

・収益については、入院・外来診療単価、入院患者数の増加により医業収益が増加したため、前年度比で約2%の増加となった。
 ・費用については、職員の増加に伴い給与費、医業収益との連動に伴い材料費等が増加し、また、新生児センター改修及び高額医療機器の更新による減価償却費が増加したため、前年度比で約3%の増加となった。
 ・収支差については、約2億7千万円の赤字であった。

(2) 前年度比収支状況

(単位:億円)

	H27年度	H28年度	H28－H27	対前年度比	参 考
収益	223.1	228.1	5.0	102%	診療単価 (H27) (H28)
営業収益	220.7	226.1	5.4	102%	入院 77,948円 → 78,044円
うち入院収益	147.8	148.0	0.2	100%	外来 16,023円 → 17,458円
うち外来収益	54.5	58.3	3.8	107%	
うち運営費負担金	11.9	12.9	1.0	108%	患者数 (H27) (H28)
うち重症心身障がい児施設収益	0.0	0.8	0.8	—	入院 189,348人 → 189,660人
営業外収益	2.1	2.0	▲0.1	95%	外来 340,070人 → 333,749人
うち運営費負担金	1.4	1.4	0.0	100%	
臨時利益	0.3	0.0	▲0.3	0%	一般病床利用率 (H27) (H28)
費用	224.0	230.8	6.8	103%	87.7% → 87.0%
営業費用	212.3	220.7	8.4	104%	
うち給与費	99.6	102.4	2.8	103%	
うち材料費	63.6	65.6	2.0	103%	
うち経費	29.3	28.1	▲1.3	96%	
うち減価償却費	18.0	20.1	2.1	112%	
うち重症心身障がい児施設費用	0.5	3.1	2.7	678%	
営業外費用	11.3	10.1	▲1.2	89%	
うち支払利息	2.1	2.1	0.0	100%	
うち控除対象外消費税	9.2	8.0	▲1.2	87%	
臨時損失	0.3	0.0	▲0.3	0%	
収支差	▲0.9	▲2.7	▲1.8	—	

※ 各項目において百万円単位を四捨五入しているため、各項目の数値の合計と合計欄の数値が一致しない場合がある。

※ 重症心身障がい児施設:平成28年3月供用開始

(3) 前年度比収支変動の主な要因

ア 営業収益

- うち入院収益 (0.2億円増) 診療単価・患者数の増加によるもの
- うち外来収益 (3.8億円増) 診療単価の増加によるもの
- うち運営費負担金 (1.0億円増) 重症心身障がい児施設運営費の増加によるもの

イ 営業費用

- うち給与費 (2.8億円増) 職員の増加によるもの
- うち材料費 (2.0億円増) 医業収益との連動によるもの
- うち減価償却費 (2.1億円増) 新生児センター改修及び高額医療機器更新等によるもの
- うち重症心身障がい児施設費用 (2.7億円増) 重症心身障がい児施設本格始動に伴う入所収益との連動によるもの

ウ 営業外費用

- うち控除対象外消費税 (1.2億円減) H27:すこやか棟建設にかかる固定資産取得によるもの